

様式2 厚木市報道資料		発 信 日	
 (式典、催し、大会等)		令和7年7月18日	
<b>夏の音楽と厚木のフードを楽しむ 厚木市制 70 周年記念「あつぎジャズナイト 2025」を開催</b>			
1	日 時	令和7年8月21日(木)・22日(金) 午後4時～8時(荒天中止)	
2	会 場	厚木公園(中町3-7)	
3	主 催	厚木市	
4	実施主体	厚木市まちなか活性化プロジェクト	
5	概 要	<p>夏の夜に地ビールやおいしいグルメを食べながら、ジャズを中心とした大人の雰囲気を楽しめる音楽イベントです。</p> <p>1 主な内容</p> <p>(1) 総勢10組によるジャズを中心とした音楽ステージ</p> <p>(2) 地ビールや商店会などが提供するフードの販売(17店舗)</p> <p>(3) 市内の協力店舗(本厚木キャビン、マッカーサーギャレτζ、本厚木ミロード)でもジャズイベントを開催</p>	
6	目 的	音楽と食をテーマにしたイベントを開催し、中心市街地のにぎわい創出や市の魅力発信、商業振興に寄与します。	
7	PRしたい内容、セールスポイント、前回との違いなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生のジャズグループからライブハウスなどで活動するプロミュージシャンまで、総勢10組のさまざまなアーティストの生演奏が入場無料で楽しめます。</li> <li>・地ビールの飲み比べ、「厚木のとん漬け」を使った焼きそばなど、おいしいフードをそろえた店舗が多数出店します。</li> <li>・市制70周年記念の企画として、イメージデザインを市民公募で決定しました。</li> <li>・イベント終了後も市内の飲食店で楽しんでもらえるよう、会場では中心市街地の飲食店マップを配布します。</li> </ul>	
8	添付資料	チラシ	
9	本資料の問合せ先	部課名	産業文化スポーツ部 商業観光課(課長 熊坂 修)
		電話	(046) 225-2841

未来へ一歩つながる  
あつぎ 70 年



玉川地区記念事業

被爆しても  
ピアノの音色は  
変わらなかつたのです



## 厚木市戦後及び被爆 80 年記念事業

80 年前の 1945 年、広島に投下された原子爆弾に被爆したピアノ。このピアノを修理し、音色を蘇らせる調律師・矢川光則さんが自ら運転する 4 トントラックで全国各地を巡る平和の種蒔きの活動が題材の映画『おかあさんの被爆ピアノ』の上映する映画会。そして厚木ゆかりの音楽家たちの演奏に加え、一般公募の出演者をまじえた本格的な演奏会を開催します。今年、くしくも被爆 80 年という節目の年。地域のみinnで平和の大切さかみしめる機会にしてみましょう。

あの時から80年—音色で伝える平和。

平和のつどい

# 被爆ピアノ

参加無料

申し込み制

## 映画会&演奏会

8月20日(水)

15:00 開演 17:45 終演予定  
会場：厚木市文化会館大ホール

8月21日(木)

17:20 開演 19:30 終演予定  
会場：厚木市文化会館大ホール

### 内容

- ◆映画上映 (113 分)
- ◆矢川さんのお話
- ◆五藤監督の舞台挨拶とお話
- ◆被爆ピアノ演奏デモ

### 内容

- ◆矢川さんのお話
- ◆絵本「旅するピカドンピアノ」朗読
- ◆公募市民の演奏
- ◆厚木ゆかりの音楽家などの演奏

## おかあさんの被爆ピアノ

佐野史郎 | 武藤十夢 (AKB48)

森口瑠子 | 宮川一朗太 | 大桃美代子 | 南壽あさ子 | ポセイドン石川 | 谷川賢作 | 鎌滝えり

申し込み方法は裏面をご覧ください。

●主催/厚木市制 70 周年記念事業玉川地区委員会、厚木市戦後及び被爆 80 年記念事業実行委員会

●共催/玉川公民館、玉川地区地域づくり推進委員会、厚木市(地域包括ケア推進課) ●協賛/玉川地区地域福祉推進委員会、玉川地区自治会連絡協議会

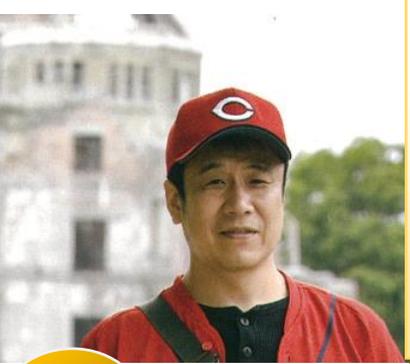


### 矢川 光則 (やがわ みつのり) さんからメッセージ

ピアノ調律師として約50年、広島でピアノ修理活動をしている中で1998年に被爆者より1台の被爆ピアノを託されました。このことをきっかけに自分のできる平和運動として2005年から被爆ピアノの全国巡演コンサートを開始しました。被爆したピアノの音色を五感、聴覚に感じてもらうことで、特に子供たちへの平和学習では大きな役割を果たしたと思っています。2023年から3年連続の厚木市訪問となりますが、今年は被爆から80年という節目の年ですが、被爆ピアノを通じて平和の種がますます広がっていくことを願っています。

#### プロフィール

1952年広島生まれ。ピアノ調律師。被爆者から「平和の為に役立たせてほしい」とピアノを託されたことをきっかけに、2005年から被爆ピアノ全国巡演コンサートを始める。著書『海をわたる被爆ピアノ』が2010年に講談社から刊行されたほか、2021年、自身の工房敷地内に「被爆ピアノ資料館」を開館。



### 五藤 利弘 (ごとう としひろ) 監督からメッセージ

戦争を知らない僕らは平和を当たり前のように享受してきました。しかし、当たり前だと思っていた平和は当たり前ではないことを最近の世界情勢の不安や、国内で度重なる災害などから強く感じるようになりました。いまさらながら平和とはずっと維持しようと思いついていないと平和ではなくなってしまうのではないかと思うようになりました。そのためには僕らが後進の若い人たちに語り継がなくてはならないと強く思うようになりました。厚木での映画会では会場で今思うことを少しお話させていただければと思っています。

#### プロフィール

1968年新潟県生まれ。テレビ番組の企画・構成・演出や映画の脚本・演出を担当。2009年に自身企画「モノクロームの少女」を映画化、脚本・監督を担当、全国で公開。以降、長編映画や短編映画など多数手がける。2019年「美しすぎる議員」を公開するなど現在も積極的に映像制作に取り組んでいる。

### 演奏会の主な参加者の皆さん

~~~~ 朗読 ~~~~

◆特別ゲスト

原田 大二郎さん (俳優)



~~~~ 演奏 ~~~~

- 渡辺 俊爾さん (ピアノ)
- 浅田 和子さん (ピアノ)
- 完戸 吉由希さん (サクソフォン)
- 藍川 政隆さん (チェロ)
- 高松 京子さん (ソプラノ)
- 内田 忠行さん (バリトン)

ほか多数

### 上映作品の あらすじ



昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則(佐野史郎)。彼自身も被爆二世。爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。矢川は、現在数台の被爆ピアノを託された修理、調律して、それを自ら運転する4トントラックに載せて全国を回っている。東京で生まれた江口菜々子(武藤十夢)は大学で幼児教育を学び、幼稚園教諭を目指しているものの将来について漠然としている。そんなある日、被爆ピアノの1台を母・久美子(森口瑤子)が寄贈していたことを知った菜々子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。矢川を通して被爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身のルーツ探しをしていく。母・久美子はどうして広島から出ていったのか？祖母・千恵子が菜々子に伝えたかったこととは？調律師・矢川がなぜ被爆ピアノを伝える活動をしているのか？菜々子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に見つけていく…。(映画プログラムから引用)

### 申し込み方法

申込受付期間：7月15日(火)～8月15日(金)

●電子申請システム (e-kanagawa)

応募はこちら⇒



右の二次元コードまたは市ホームページから電子申請システム (e-kanagawa) へアクセスし、お申し込みください。  
\*同行者がいる場合は、同行者の情報もご入力ください。

●問い合わせ 厚木市地域包括ケア推進課 ☎ (046) 225-2200、又は玉川公民館 ☎ (046) 248-0006